

(総務委員会)

観光による地域の活性化を目指して、国、県、市および関係団体などとの連携を図り、下記について実施したい。

1. 協会事業全体に対する総合的な企画及び調整。
2. 国、県、市及び関係団体の事業への参加を通じて下呂温泉の情報発信と収集。
3. 広域観光の推進を目指して周辺地域、関係機関との連携。
4. 濃飛横断自動車道、リニアエクスプレス中央新幹線「中津川駅」からのアクセス整備。
5. 「M I C E」(Meeting、Incentive、Convention、Event/Exhibition)による誘客促進。
6. 下呂温泉のランドマークとなる外湯施設などの建設推進。
7. 飛騨・美濃じまんキャンペーン、ウェルネスツーリズムなどとの連携。
8. インバウンド推進を図る岐阜県の空港整備やアクセス充実のための諸活動。
9. 温泉を活かした健康保養地づくりの促進。
10. 下呂交流会館コンベンション活用。
11. J R高山本線強化促進のための諸活動。
12. 下呂市並びに下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合等関係団体との連携の強化。
13. 県及び近隣観光協会及び商工会、市内観光協会連絡協議会など関係団体との連携。
14. 日本三名泉有馬・草津と韓国儒城との交流、情報交換。
15. 下呂温泉まつりの共催。
16. 市、市議会および行政機関、教育機関との意見交換会などの開催。
17. 日本文化の継承を図り、芸妓芸能の育成。
18. 防犯活動の推進。
19. 観光関係功労者、優良従業員の表彰。
20. 会費、負担金の検討。
21. 下呂市観光協会連絡協議会の事業。
22. 下呂温泉観光協会だよりの発行。

昨年度は東日本大震災による大打撃を受けて、官民一体となって情報収集や分析等の戦略会議を重ね誘致事業を実施した結果、前年比103.9%増となり100万人を回復することが出来ました。しかし、宿泊料金等の低価格化など取り巻く環境は厳しくまだまだ先行きの見えない状況は続いています。旅行ニーズの変化が速くその対応が重要であり、油断することがないようにしっかりと誘致宣伝が必要であります。若干の円安傾向により中部地区の自動車など輸出産業は景気回復の兆しが出ていますが、個人所得が上がるどころまで来ていません。依然デフレ傾向は続いていて国もデフレ対策をしていますが、効果がでるのはまだ先のようにです。こうした中、昨年の結果をふまえ岐阜県や下呂市並びに旅館組合・商工会・下呂交流会館・合掌村・コンベンションなどとの連携を強化し、キャラバンなどを中心に誘致に努めるとともに、着地型観光の造成などを促進して事業展開を致します。尚、事業展開については、お客様のニーズに対応しながら、受入態勢の強化を図り観光客誘致に努力していきます。

1. 全国各地へのキャラバンの実施
2. 中部運輸局・岐阜県・岐阜県観光連盟との連携
3. JR東海はじめ旅行業者との連携
4. 旅フェア2012の開催
5. 宣伝用印刷物・販促物の作成とマスメディアに対する広告出稿
6. インターネットによる情報発信事業
7. 下呂市、下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合、下呂市観光協会連絡協議会、下呂市観光客特別誘致対策協議会との連携
8. MICE(マイス)による観光客誘致の促進(交流会館、コンベンションビューローとの連携)
9. インバウンド事業の促進
10. ドライブ旅行の誘致対策
11. 着地型旅行商品の積極的な取り組み
12. 下呂温泉ふるさと観光大使に掛かる事業



企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、イベント、展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字をとった造語である。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

(まちづくり委員会)

新しい時代の温泉地として、街並整備、名所作りは重要な要素の一つです。美しい街は訪れたお客様への最大の「おもてなし」と考えます。

行政、各種団体の連携を図り下記の事業を実施し、温泉地としての「魅力あるまちづくり」について推進していきたい。

1. 花木の植栽と定期的な管理
2. 飛騨川・国道41号線クリーン大作戦の実施
3. 四季を通しての名所作りの推進
4. 飛騨街道の再生事業への協力
5. 交流研修委員会との協力（電線の地中化等）

(交流研修委員会)

お越し頂いたお客様のご満足度を上げていくことが重要であると考えます。そこで、魅力ある温泉地づくりの為に研修事業である「車上セミナー」を実施したい。

また、市内の観光資源(厳立峡・金山巨石群)をはじめ周辺観光地などお客様への細やかなご案内ができるよう、協会員(接客担当者)らなどを対象とした視察研修も実施したい。この視察事業については電線の地中化などにも絡めて「まちづくり委員会」とともに連携して実施したい。

また、韓国儒城温泉との国際交流事業(平成9年2月12日締結)についても先方への表敬訪問もしくは当地への招請など、社会情勢を鑑みながら実施したい。

1. 協会員の研修及び高山本線強化促進を目的に「車上セミナー」を開催
2. 市内外の観光資源の視察などの「おもてなし研修会」の開催
3. 韓国儒城温泉との国際交流事業の実施・日常会話等語学講習会の開催

※例年実施の車上セミナーは、皆様方のご参加による永年の積み重ねが、JR東海による商品造成や主要駅や新幹線車両内でのポスター掲示など観光客の誘致に繋がっております。大阪からの直通「ワイドビューひだ」の増両・増発などをはじめとする高山線強化促進への期待が膨らみます。

(おもてなし委員会)

ホスピタリティ宣言をしている街として、下呂温泉を訪れる皆様を心からの「おもてなしの心で」お迎えをしたい。

お客様目線にたった各イベントを通して大きく誘客に結びつけ、訪れて良かったと心から思われる下呂温泉にし、再度訪れたい地として飛躍を図りたい。

その為に下記事業を展開する。

1. 下呂温泉いでゆ夜市の開催
(7月21・28日・8月4・11・18・25日) 各土曜日 6回開催予定
2. 歌塚供養祭
3. 歌塚歌謡祭
4. キャンドルイルミネーションの実施
12月24日(月)開催予定
5. JR東海「さわやかウォーキング」、春 4月7日(土)開催
各種アウトドアイベントの協力
6. 温泉街の各種イベントに協力

(青年部)

—事業方針—

昨年は欧州債務危機による円高や株安、中東の政情不安による原油高など、我々を取り巻く経済環境も依然として厳しい状態にあります。下呂温泉におきましても、原発事故による外国人観光客の減少や宿泊単価の低下など、なかなか先の見えない厳しい状態が続いております。このような時でも私達青年部は、「観光」という地域経済にとって波及効果の大きな総合産業を、今どうすればよいのか考え、行動することで、下呂温泉の魅力や個々の事業所の魅力をお客様に感じていただければと思います。また、先人が築き上げた「下呂温泉」の知名度の大きさや下呂の観光資源を最大限に生かして、個性のある観光地づくりに積極的な活動を展開していきたいと考えております。私達青年部は、個々の業種、規模、立地に関わらず同じ時代に頑張る仲間として、大いに情報を交換し、語り合い、互いに啓発しあうことで、地域経済を担う一員として自覚を持ち青年部活動に取り組んでいきましょう。

(事業計画)

1. 下呂温泉観光協会の諸事業への協力
2. 下呂温泉への誘客キャラバン
3. 下呂温泉の街並み整備に関する調査研究
 - ・花木の植栽や消毒、肥料やり
4. 諸団体(各青年部)との連携
 - ・下呂温泉花火ミュージカル冬公演実行委員会への参画
5. 部員拡大